

令和3年全国学力・学習状況調査結果

大町町教育委員会

大町町教育委員会では、大町ひじり学園児童生徒について、中止になった昨年度を除き、学校の下承のもと平成26年度から全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学等の結果について公表してきました。

大町ひじり学園は、「大磨 智誠」を教育目標に小中一貫教育を推進する義務教育学校です。「夢に向かって 絆・全力・挑戦」を目標としたキャリア教育を視点に、知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指しています。今回公表する結果は、児童生徒の現時点での一面であり、学校では、今後の学力向上対策の一資料としています。

また、大町ひじり学園はコミュニティ・スクールであり、地域と共にある学校づくりを目指しています。保護者、地域の皆様に児童生徒の学習状況・意識調査を知らせることにより、大町町の教育への関心を高め、地域総ぐるみで教育を考える機会となればと考えております。

学習状況と意識調査(家庭での学習や生活状況等)の傾向を合わせて公表することにより、保護者、地域の皆様との連携体制の構築の一資料となればと考えています。

1 5月調査の学力・学習状況【対県比值】

※ 佐賀県平均を100とした時の大町町児童生徒の平均比較値(%)

	国語	算数・数学
6年生	103%	100%
9年生	97%	93%

2 学力調査から見る町児童生徒の傾向

- (1) 6年生は、国語で県平均をやや上回り、算数で県平均と同程度の学力である。
- (2) 9年生は、国語で県平均をやや下回り、数学で県平均を下回る学力である。
- (3) 6年生の国語・算数とも、「知識・技能」の観点における正答率が、県と比較して高い。
- (4) 9年生の国語では、「話す・聞く能力」、「読む能力」の領域における正答率が、県と比較して低い。数学では、「図形」、「資料の活用」の領域における正答率が、県と比較して低い。

3 質問紙から見る町児童生徒の傾向

- (1) 「家庭や地域との連携」に関わる項目が、県と比較して非常に高い。
- (2) 9年生の国語・数学への関心は、県と比較して高い。
- (3) 9年生の「同じ時刻の起床・就寝」、「朝食の摂取」など、「生活習慣・学習習慣」に関わる項目が、県と比較して非常に低い。

4 学習状況と意識調査からみる町児童生徒の傾向

(1) 正答率が高い町児童生徒の傾向

○ 学校で

- ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・ 友達の考えを受け止め、自分の考えをしっかりと伝える。
- ・ 課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んでいる。
- ・ 分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる。

○ 家庭で

- ・ 毎朝、同じ時刻に起きている。
- ・ スマホやコンピュータを持っていない。

- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・ 今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

(2) 正答率が低い児童生徒の傾向

○ 学校で

- ・ 自分でやると決めたことをやりとげない。
- ・ 人が困っているときに助けない。
- ・ 友達と協力するのは楽しくない。

○ 家庭で

- ・ 自分で計画を立てて勉強をしていない。
- ・ 地域行事に参加しない。

5 学力向上に向けた町教育委員会の10の方策

(1) 全国学力・学習状況調査及び佐賀県小・中学校学習状況調査の分析

(2) キャリア教育を柱とした小中一貫教育のさらなる推進

(3) 学習指導充実のための人的整備

(小1プロブレム解消員、特別支援教育支援員の配置、加配教員の活用)

(4) 学校訪問による大町ひじり学園教職員への授業力向上に係る指導助言

(5) 大町町若手教員育成プログラムに基づく研修会の実施

(6) 公設算数学習塾「まちじゅく」の開設

(7) 小学部外国語指導の充実(学校ボランティア、ALT、小学校英語教育専科指導教員の活用)

(8) 放課後及び長期休業中の補充学習の充実(学校ボランティアの活用)

(9) 児童生徒1人1台教育用コンピュータの積極的活用

(10) 学校運営協議会の熟議・啓発

6 教育長のコメント

全国の小学6年生及び中学3年生を対象とした令和3年5月の全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。大町町教育委員会では、この結果を学力指標の一部と捉えながらも、たいへん注視し長年にわたり経年変化を分析しているところです。

調査結果によれば、今年度も家庭での生活習慣・学習習慣に課題があることが浮き彫りになっています。スマホ使用による影響も懸念されています。大町ひじり学園の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善（ICT機器の活用、聞く力の育成等）と共に、家庭学習の充実、児童生徒1人1台の教育用コンピュータの積極的活用に向けた取り組みが重要と考えます。大町町教育委員会がしっかり支援していく所存です。

大町ひじり学園は、平成19年度から小中連携の研究を行い、平成23年度から小中一貫校として、平成28年度から九州初の義務教育学校として、キャリア教育を基軸に9年間をつなぐ小中一貫教育を着実に推進してきた結果、これまで、中学部生徒は進級のたびに学力を伸ばしています。特に、英語の成果には著しいものがあります。また、小学部児童も着実に基礎学力が定着してきています。学校では、毎日落ち着いた授業が展開されており、今後も問題行動等の減少にしっかり取り組み、さらなる学習環境の充実に努めていきます。

また、コミュニティ・スクールに取り組んで10年が経過し、児童生徒自身も家庭や地域との関わりを強く意識していることが分かり嬉しく思っています。

大町町教育委員会は、児童生徒の多様な課題とこれまでの取り組みによる確かな成果を踏まえ、大町ひじり学園が義務教育学校として、コミュニティ・スクールとして地域の自慢の宝となるよう、保護者・地域の皆様のお力をお借りしながら、今後も人的・物的な環境整備、教員の授業力・指導力向上への指導助言、家庭教育支援等に尽力してまいります。そして結果として、一步一步児童生徒の学力向上、キャリア発達が図られるよう今後も効果的な事業を展開してまいります。

どうぞ保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。